

大和市生活支援・介護予防サービス第1層協議体 令和6年度第1回会議 議事録

日 時：令和6年4月22日（月）午前10時00分～午前11時00分

場 所：大和市保健福祉センター 5階 501会議室

出席者：委員7名（欠席2名） 支援組織3名 健康福祉部長 事務局6名
第1層コーディネーター2名 （その他：傍聴者5名）

配布資料

- ・ 大和市生活支援・介護予防サービス第1層協議体委員名簿
- ・ 大和市生活支援・介護予防サービス第1層協議体委員席次
- ・ 資料1 令和5年度の大和市における第2層協議体の活動状況等について
- ・ 資料2-1 令和5年度の取り組み状況について
- ・ 資料2-2 令和5年度生活支援コーディネーター研修の概要
- ・ 資料2-3 桜丘地区における協議体設立の経緯について
- ・ 資料3 令和6年度の取り組み予定

会議次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
 - （1）大和市における第2層協議体の活動状況等について・・・資料1
 - （2）令和5年度の取り組み状況について・・・資料2-1・2-2・2-3
 - （3）令和6年度の予定等について・・・資料3
 - （4）その他
4. 閉会

会議内容

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題

会 長：それでは、本日の議題の1番目、令和5年度の大和市における第2層協議体の活動状況等について、事務局から説明してください。

◆資料1 令和5年度の大和市における第2層協議体の活動状況等について、に沿って事務局から報告。

会 長：事務局から、各地区の活動状況等について報告がありましたが、活動に関わっている委員から、何か補足説明などありましたらお願いしたいと思います。

委 員：支援団体との交流会が示されているが、自治会長が毎年代わる自治会もあり、協議体のことをきちんと把握をしていない恐れもあると思われるので、自治会長に集まってお聞き、協議体の設立当初からの経過報告やどんな相談があるのか等の話をさせていただいた。そして意見交換会

を行ったというのが8月のものである。12月に行ったものは、民生委員児童委員との意見交換会である。協議体を設立してから民生委員児童委員との関りというものが深くなってきていたがその間にコロナ禍があり、丁度その頃に新しく民生委員児童委員になった方もいらっしやったので、協議体についてきちんと説明をしておいた方がよいと言うことを地区民児協の会長とも話をして行ったものである。3つのグループに分かれてグループ討議を行い、民生委員児童委員が困っていることや疑問に思っていることなどの様々なことを話しながら意見交換をするという機会を持ったもので、これはとても有効であったと思っている。地域の支援団体に協議体をきちんと説明していくということが大切であるということを実感した。今年度もゆめクラブや健康普及員等の団体に呼び掛けをして意見交換会の場を設けていこうと思っている。如何に、地域に協議体の意義を知っていただくかの努力をしていくことが、協議体の一つの役割ではないかと思っている。

会長：ありがとうございます。地域の方々への理解というのは、やはり一筋縄ではいかない。先ずは、地域の活動の中心になっている自治会長たちに理解してもらおうということ。それから、今年度はゆめクラブや健康普及員の方々ということで、そうした人たちが入ってくると更に理解が深まってくると思う。皆さんに知ってもらうように努めているという話でしたが、他の方で、何かご意見、ご質問がありましたらお願いします。質問等がないようですので、次に参りますが、私も渋谷西で進めていく時に、自治会長だけであったので進まなかった。次回には、やはり民生委員児童委員とかの多くの方々と輪を広げて、外堀を埋めるというか、そういったことを考えているところである。

委員：もう一点、最近「ここさぽ」に立ち寄ることが当たり前の方たちが増えている。先日も病院で出会って、病院だとあまりおしゃべりもできないので、「私“ここさぽ”で待っている。」と言って、拠点で待ち合わせをして話をして行ったという方たちがいた。そういった使われ方をしているということで、「ここさぽ」が居心地の良い場所になってきている証かと喜んでいる。気軽に立ち寄れる場所ということが一番良いことであるが、いろいろなことが相談できる場所であるとの認識もされてきたのかと思っている。

会長：ありがとうございます。理解の場を広げるということ。それが一番のスタートである。

【質疑】

会長：他にありますか。よろしいでしょうか。
＜特になし＞

会長：ないようなので、議題（2）令和5年度の取り組み状況について、事務局から説明してください。

◆資料2－1、令和5年度の取り組み状況について事務局から説明。研修の説明については市社協に引き継ぐ。

- 会 長：それでは、市社協から令和５年度に実施した研修について説明願います。
- 支援 組織：資料２－２をご覧ください。生活支援コーディネーター研修の概要について説明いたします。研修については、市社協が市からの委託を受けて令和元年度から実施しています。令和５年度につきましては、資料表の通り、「拠点におじゃまツアー」と「広報スキルアップ研修」の２つの柱で実施した。初めに「拠点におじゃまツアー」は、令和５年１０月１７日、「中央地区の支え合いセンター」、それから１１月３０日は、「たすけ愛しもつるま」それぞれの拠点におじゃまして、協議体の取り組みの状況、拠点の活用の方法等について説明をいただき、その後、参加者で情報交換会を行わせてもらった。参加者からは、「他の拠点を訪問し、雰囲気や環境等を知ること、自分たちの拠点の環境整備が必要であると感じた。」「自分たちの拠点内で悩んでいること、問題となっていることなどについて、様々な意見交換ができてとても参考になった。」というような意見をいただいた。この「拠点におじゃまツアー」については、令和４年に「つきみ野地区」と「福田北地区」におじゃまをしているので、残るのが「南林間地区」と「上草柳地区」の２つになっている。こちらについてもおじゃましていきたいと思っている。それからもう一つが「広報スキルアップ研修」、こちらは先ほど「協議体のことを知っていただくことが大事だ。」という話がありましたが、そのための配布用のチラシや広報紙作成に当たっての基本的な考え方を学ぶとともに、作成に当たってのポイントとなる写真の撮り方やレイアウトの方法などについて、参加者が持っているスマホを使って実施をして研修を行った。令和６年１月１１日、保健福祉センター１階ホールを会場に、NPO 法人よこはま地域福祉研究センターから２人の方に講師としておいでいただいた。参加者から「今まではこちらから伝えたい情報を伝えることに注力していたことに気が付いた。それだけではダメなので、きちんと読者に伝わって、その人が一緒に参加してみたいとか活動してみたいとかと思ってもらえるように作っていくことが大事である。ということを学んだ。」という感想、「自分のスマホにこんなにたくさんの機能があることを知らなかった。」「写真を撮るにあたって構図や背景を少し意識することで素敵な写真ができることを学んで、今後活かしていきたい。」という感想をいただいた。それぞれの研修が、今後の協議体の運営に役立ててもらえることを願っている。以上です。
- 会 長：ありがとうございました。引き続き資料２－３、桜丘地区における協議体設立の経緯について、説明をお願いします。
- ◆資料２－３ 桜丘地区における協議体設立の経緯について、を事務局から報告。
- 会 長：ただいま事務局から説明がありましたが、支援組織の包括支援センターから補足説明などありましたらお願いいたします。
- 支援 組織：中央林間エリアの話にはなるが、昨年当初は、設立に向けた機運が高まって来るかとの思いがあったが、その後、そのままという流れで話が進

んでいない状況にある。この会議前に、同じ中央林間の委員と会った際に、関係団体を一度に会せるような場を包括が設定して、話を進めていけないかという話をしたところであった。今後それについて、桜丘地区を見習って進めていかれたらと思っている。

会 長：ありがとうございました。

支援 組織：桜丘地区は、大和市内でも高齢化率のかなり高いエリアで、高齢の方たちは協議体の生活支援に対する必要性を感じていらっしゃるだろうと推察する。それに伴い、自治会、地区社協、民生委員児童委員など、どの組織も協議体に期待をしているという印象がある。加えて包括支援センターでもそうした組織の人たちとのつながりも強くあるエリアなので、各団体と包括支援センターが連携しながら進めやすい地域なのかということから進んでいっているような気がする。今現状で、支え合い推進員の候補者も出ているということだが、高齢化が進んでいる地域なので、支援者自身も高齢化していくのかと思うと課題の多い地域と考える。

【質疑】

会 長：ありがとうございました。やはり、高齢化が進むと生活支援があると助かるという意見がある。だけれどもスタートが切れないというジレンマがある。うまく回っていくとよいと思う。今、令和5年度の取り組み状況等について説明がありましたが、何かご質問やご意見がありましたらお願いをします。

委 員：福田北の「ここさぼ」に駅を跨いで相談に来る桜丘地区の方は多い。それで、「今、設立の準備をしていますからもう少しお待ちください。」と「ここさぼ」のコーディネーターたちが伝えている。同時に相談内容を民生委員児童委員につなげたり、何処に行けばよいか、こういう形で解決してください、と言ったアドバイスをしている状況にある。協議体が出来たら、徐々に大和市全域で助け合いの輪や相談できる場所が多くなり、すみよい地域になっていくのではないかとと思っている。是非、桜丘の協議体設立に向けて進めていってもらいたい。

会 長：ありがとうございました。桜丘地区は、小田急桜ヶ丘駅の東側。福田北が西側の方になる。「ここさぼ」が駅のすぐ側にあるので来られるのだろうと思う。そういう面でも桜丘の方たちに「近くにあるといいよね。という意識が増えて来ると良いと思う。他にありますか。

委 員：今、事務局から説明のありました桜丘地区における協議体設立の経緯について、敬意を表すところです。いろいろと報告のある通り、南林間の包丁研ぎや健康測定コーナーの実施では、いみじくもパルシステムと神奈川ゆめコープの共同事業ということで、こういう活動を中央林間、南林間を始めとして、私たちの生活協同組合運営協議会では日常的に活動をしている。中央林間地区に限っては8自治会の会長会の中で第2層協議体の話も出ていて、何かしなくてはいけないということにはなっているが、会長同士での話はいいが、具体的にどう進めていくかということでは包括にも努力してもらったが、昨年1年間進んでいない。桜丘の資

料のように順を追って管理されているというか、事務局がないのでとぎれとぎれになっていることが中央林間で実現しない原因になっているので、できれば会長会とか民生委員児童委員、地域包括とかに連絡を取る事務局というか、そこに援助をしてもらえれば話が進んでいくと思っているので、よろしくご協力をお願いします。

会 長：ありがとうございます。自治会長の中では、ある程度の意識が高まっているところは多いと思っている。他にありますか。

＜特になし＞

会 長：他になければ、次の議題の（３）令和６年度の予定等について、事務局からお願いします。

◆資料３ 令和６年度の予定等について、を事務局から説明。

【質疑】

会 長：ありがとうございます。令和６年度の予定等について、何かご質問やご意見がありましたらお願いをします。

＜特になし＞

会 長：それでは、議題の（４）その他について、事務局から何かありますか。

◆健康福祉部長より、福祉の相談支援体制の充実を図るべく新年度からスタートした「福祉ここから相談窓口」の概要について説明。

事 務 局：第１層協議体の第２回会議につきまして、来年２月または３月頃を予定しております。開催にあたりましては、改めて事務局から各委員の方々にご連絡をさせていただきますので、よろしくお願いします。

会 長：ありがとうございます。委員の皆さんから何かございますか。

委 員：福祉の相談体制の件について、協議体にも説明に来てもらえるのか。

事 務 局：４月から組織ができて、いろいろな事を考えながら動いているところである。もちろん協議体との連携はとても大事なものと思っているので、どこかで機会を作ればと考える。相談をさせていただきたい。

委 員：今回、桜丘地区において、上手く自治会の説明会とか具体的な経緯が出されたので、これをモデルに、各地域に、未設置の地域というのはもっと深い問題があるのかもしれないが、皆で各地域にできるように頑張ってもらいたい。

会 長：それでは、何もないければ、これで閉会とさせていただきます。